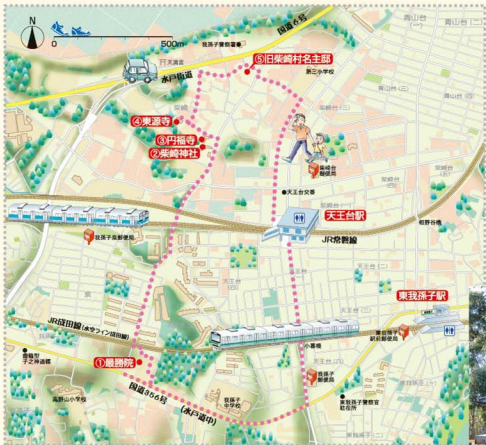


6 古道を歩き、旧柴崎村の旧跡を訪ねる

所要時間 徒歩1時間30分

★142Kcal消費

天王台駅→①最勝院→②柴崎神社→③円福寺→④東源寺→⑤旧柴崎村名主邸→天王台駅(北口)



①最勝院

Map C-4

真言宗豊山派。本尊は不動明王。香取神社(高野山)の別当寺。相馬靈場27番札所。小林一茶が1810(文化7)年に参詣(『七番日記』)。

②柴崎神社

Map C-3

かつては妙見社、北星社とよばれた。1880(明治13)年に柴崎神社となる。伝承に日本武尊や平将門がこの社で武運を祈願したという。板碑として市内で最古である1298(永仁6)年銘の板碑を保管。「日露戦役黒髪塚」がある。

③円福寺

Map C-3

真言宗豊山派。本尊は阿弥陀三尊。江戸初期の開創と伝わる。柴崎神社別当寺。旧柴崎村領主新見家菩提寺。境内に歴代新見家墓石がある。新見家は、幕末期まで柴崎村に320石余を知行。相馬靈場55番札所。鯖大師堂がある。

④東源寺

Map C-3

境内の榎の木は県の天然記念物。相馬靈場創設の願主観光音禪師お手植えといわれる。周囲およそ4.5m。樹齢約250年。昔、種子を駆虫薬として頒布。志賀



直哉の作品『十一月三日の午後の事』に寺名と榎の木が登場。相馬靈場75番札所。

⑤旧柴崎村名主邸

(敷地内は非公開)

1814(文化11)年、初代磯右衛門は酒造を始める。二代目磯右衛門が苗字帯刀を許され、川村姓を名乗る。江戸後期から名主を務める。旗本新見家の財政を支える。